

事務事業名		レクリエーション協会支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり			担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			組織	担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備			新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1	生涯スポーツの推進			実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15033	一般	10	5	1	レクリエーション協会支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則		任意の事業・義務的の事業		任意の事業
							実施方法		直営		
							事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
佐野市レクリエーション協会の運営を支援するため、補助金を交付している。					(市の活動) 補助金を支出するための手続き(6月)。 (団体の活動) 市民歩け歩け大会開催(4月)、総会開催(5月)、ウォークラリー大会開催(6月)、レクリエーションフェスティバル開催(10月)、ニュースポーツスプリングフェア開催(3月)、レクリエーション協会誌発行(10月)。						
(補助の目的) 同協会を支援することで、レクリエーション活動を活発に行なってもらい、多くの人に、レクリエーションに親しんでもらう機会を提供する。					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
					登録団体数	団体	31	31	31	29	28
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
①市民					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
②(交付対象団体) 佐野市レクリエーション協会					人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
①スポーツ・レクリエーションの普及、振興					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
②佐野市レクリエーション協会及び加盟団体の円滑な運営を支援する。					主催事業への参加者数	人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
スポーツ・レクリエーションに親しんでもらう					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
					週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.7	40.6	38.5	40.5	45.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	650	650	650	650	650	
	事業費計(A)	千円	650	650	650	650	650	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	650	補助金	650	補助金	650
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	30	45	45	45	45		
人件費計(B)	千円	117	177	175	173	173		
トータルコスト(A)+(B)	千円	767	827	825	823	823		

B表(事後評価シート)

事務事業名	レクリエーション協会支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和55年頃、県内の市町を持ちまわりで、県レクリエーション大会を開催していて、本市にも誘致するため本市において協会を設立した。事業開始年度は不明。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	生涯スポーツの重要性が叫ばれる時代背景の中で、レクリエーション活動が活発になっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	補助金の額を増やしてもらいたい。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	新規団体の加入促進及び支援を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	佐野市は、市民1スポーツを推進しており、生涯スポーツ及びレクリエーションの普及は、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	歩け歩け大会、ウォークラリー、レクリエーションフェスティバル等の市共催イベントをはじめ、レクリエーションの普及を協会に担ってもらっており、本事務事業は市が行うべきものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	レクリエーション協会の運営・活動を促進するための支援であり、他に代替団体はなく、市以外の支援がないため見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある		理由・改善案	レクリエーションの普及に成果は十分にでているが、新しい団体の加盟等のレクリエーションの広がりを促していく必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	自助努力と協会で行う事業の見直しをお願いし、平成24年度に補助金を減額した。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	レクリエーション協会の各加盟団体は会費を負担している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
スポーツ・レクリエーションの振興「市民1スポーツ・レクリエーションの推進」を図るため事業の終了はできない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策															
事業のやり方改善(成果向上の見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	協会役員、協会に属する各団体とも、メンバーの高齢化が目立っており、新陳代謝が図れていない。新たな人材の確保が急務となっている。															
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト																
レクフェス、ウォークラリー、歩け歩け大会等、レクリエーション協会と連携して実施するイベント事業を活性化していく。新たなスポーツ・レクリエーションの普及のみならず指導者育成を要請していく。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×
	削減	維持	増加															
向上		○																
維持			×															
低下		×	×															